

全建連新聞

社団法人 全国中小建設工業団体連合会
東京都港区赤坂2丁目2番19号 〒107
アドレスビル内
電話 03(586) 3381
購読料送料共
半年200円 1ヵ年400円

規模/技術/品質を誇る
建設省防火建築材料認定品
三菱石膏ボード

発売元 三菱商事株式会社
製造元 日東石膏株式会社
日東石膏ボード株式会社
日本石膏ボード株式会社

後期重点対策をきめる

四 役 会

市場確保などを強力に推進

時代の進展に即応した対策を

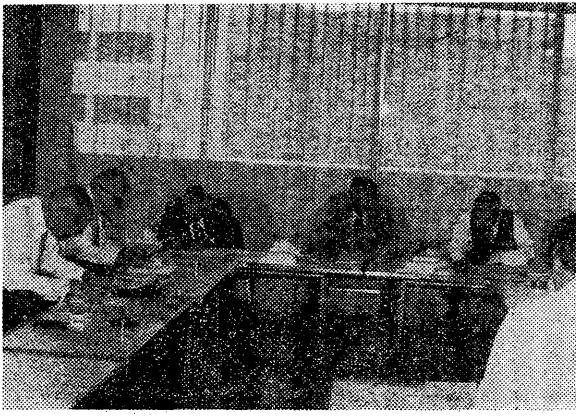
昭和五十二年の事業年度も後期に入ると、全建連では九月二十日四役会を開いて、事業活動の重点をきめる。後期の重点対策を決めた。

九月二十日、自由民主党会館において四役会が開かれた。

会議は協賛事項に入る前に、同会議に接した本会顧問の坂野重信参議院議員と積雪寒冷地における公庫貸し出し制度の改善、省エネルギー住宅の取り組みなどについて懇談を行った。

四役会の協賛事項は、①業界情勢への対応(53年度国家施策への対応)、住宅性能保証制度への対応、住宅性能保証制度への対応、建設労働問題への対応、②当会施策展開上の基本姿勢(受注拡大対策)の組織的強化・拡充対策についてである。

この内、業界情勢への対応の中で、金融公庫融資が依然として大手不動産業者等に独占されていることが指摘され、全建連としてこの問題の事実関係を調査の上



真剣に討議 (中央・今井会長)

省エネルギー等で建設大臣と懇談

建設大臣と懇談

本紙前号で紹介した「住宅等建築物における省エネルギー対策の推進に関する要望書」を九月二十二日、長谷川建設大臣に会見、手渡した。

本会の要望に対しては、同席局長を訪問し、省エネルギー、施された山岡住宅局長から、建設工事制度について意見を交換、省次年度予算要求に組み込んで、同問題に積極的に取り組むことある旨大臣へ進言があり、長谷川建設大臣もまた、実現方へ向けての努力を約束してくれた。

その他、積雪寒冷地における金融公庫の融資の改善、住宅省吉沢事務局長が参加した。

事務局長会議

時代の進展に即応した対策を

組織体制の強化策も検討

省エネ等

第三回目的事務局長会議は九月二十日、熱海市の「ホテル池田」で開かれた。

この会議は、事業活動の執行上の問題点や会組織の運営の現状などを把握し、この対策を強



挨拶をする今井会長

関かしては、後期に重点をきり、事業活動の進展に努めたいと、と挨拶した。

会議はまず本部より、業界をとりまき、特約的な情報や具体的な実施事業について報告があったあと、組織の拡充、強化対策、住宅性能保証問題、需要者対策など八項目について協議することとなり、受注、施工、教育、流通対策上の問題点についてフリーディスカッションされた。

このなかで次の諸点を確認した。
一、事業活動を積極的に推進していくには、全国的な組織をバックに取り組みなければ効果はあがらない。
二、関係業者を結集するためには、関係業者と結びつけた組織活動を推進し、組織の拡充、強化を図っていく必要がある。
三、大手、他企業の住宅産業への参入が顕著となつていくとき、受注対策が大きな問題として提起された。

木造住宅の省資源

省力化工法開発へ

委員会を設置

建設省は在来法木造住宅の省力化が大きな木造住宅及びそれを資源省力化を進めることにより、省力化を促進する設計、施工方法を開発することをきき、検討委員会を

建設省は在来法木造住宅の省力化が大きな木造住宅及びそれを資源省力化を進めることにより、省力化を促進する設計、施工方法を開発することをきき、検討委員会を



長谷川大臣(左)に要望書を提出する今井会長

こんご政府に対して住宅政策の積極的な推進や、中小企業業者の指導、育成、在来法住宅を守る適切な対策等を働きかけていくほか、自からも経営基盤を確立し、経営力、信用力を高める、需要者との結びつきを強めていく必要がある。

10月から検証作業に入る

経営モデル専門委

建築工事等の検証作業は十月から実施されるが、この対象企業は、大都市およびその周辺地域と非大都市地域から、それぞれ一五六日、第三回目的委員会を開いて、経営理念、経営方針と組織的運営の推進標準経営モデル検証要領を最終的に確認し、早速検証作業に入ることにした。



石川 金造氏

この委員会は十月にアンケート調査すると同時に改良事例の研究調査・指導を進め、年内にはこれらをもとに設計施工方法の考案を行うことを決めた。
アンケート調査は、工務店、大工、在来法住宅建設企業等を対象として、使用材料の種類、寸法型式、住宅構造について実施、全国を9ブロックに分け、各々千件として合計九千件を予定、現状を把握する。
改良事例の研究調査・指導は、現在すでに工夫、改良等を実施している工務店、大工、在来法住宅建設企業等のグループを対象として、改良点及びその効果について、アンケート調査は、工務店、大工、在来法住宅建設企業等を対象として、使用材料の種類、寸法型式、住宅構造について実施、全国を9ブロックに分け、各々千件として合計九千件を予定、現状を把握する。
委員会のメンバーは次の通り。
委員長 石川金造(財団法人全国中小建設工業団体連合会評議員会会長)、有馬孝礼(建築研究所第一部長)、今泉勝吉(建築研究所第二部長)、石山新一(住宅金融公庫技術開発課長)、梶原忠治(東京中小建築業協会理事)、佐藤政実(日本建築大工技能士会常任理事)、安道信道(安道建築設計事務所社長)、谷内富三(全建設技術対策部長)、中上英俊(住環境計画研究所社長)(敬称略)



あれやれ
灯火親しむべき
秋の夜長
虫の音をききながら
本を讀むと、心の中が不思議に
しんと静まりかえつてくるもので
ある。その本が古典文学であれば
S.P. 推理ものであれば、日常生活
の中に別の空間をもつということ
では同じ効果をもつていられる。
▼本を讀むという事は山登りに
似ていそう。山登りはどんなに
苦しくても自分で歩いていかな
ければ頂上にはたどりつけな
がら、まさに自分だけのものが
ある。本も種類によって味わい
は違ふが、真をめぐるために展開
していく世界に入っていくのは、
目も活字を追っている自分一人の
作業といふことになる。▼本は
いろいろなことを私たちに教えてく
れる。したがって良い本をたくさん
讀みたいと思ひ、教多く読もうと
する。エミール・フアグという人
は「本を讀むのは、何よりもたい
せつなことだ、ゆつくりと讀むとい
うことである」といっている。
どんなにすばらしい本であっても
急いで讀んでしまつては何も残ら
ない。これでは何百冊も通した
としても、讀まないのと同じこと
になる。▼ものを考える場合は自分
の経験をもとにすることが多いが
人間一人の経験には限界がある。
本を讀むおもしろきは、自分の知
らない未知の世界をのぞくこと
にあると思ふ。新しい発見は楽し
い驚きであり、それが知らず知らず
のうちに知識として蓄積されてい
くのだと思ふ。山登りは年令、体
力に制限があるが、読書はときに
は病人のなごみにもなり得る。
いつまでも長く眺めたいも
のだ。

みんなで掲げよう一会員証

明るく豊かな生活は 万全の備えから生まれます。

さア入ろう。 みんなの共済に。

全建連共済

・組合名も入れられます (100枚以上の場合)
・見本の請求も気軽にお申出下さい。
・お問合せは本部事務局へ

メラミン焼付塗装
300mm×200mm×20mm
2,580円 (直送 千500円)

全建連事業部

